

【生徒の実態】
 ・給食を楽しみにしている生徒は多いが、和食の日や魚、野菜などの残菜が多く、偏食また、ムラのある食べ方の生徒もいる。

学校教育目標
 「自ら進んで学ぶ生徒になろう」
 「あたたかい豊かな心の生徒になろう」
 「健康でたくましい生徒になろう」

【第4次食育推進基本計画】
 ・朝食を欠食する子ども 0%
 ・生活習慣病予防のために普段から適正体重の維持や減塩に気を付けた食生活を実践する国民 75%以上
 【東京都食育推進計画(令和3年度～7年度)】
 ・主食・主菜・副菜を組合せた食事を1日2食以上食べる人の割合 66.8→90%
 【江戸川区の教育目標・基本方針】
 ・こころ豊かに たくましく 教育の江戸川

食育の視点
 ◇食事の重要性【重】
 ◇心身の健康【健】
 ◇食品を選択する能力【選】
 ◇感謝の心【心】
 ◇社会性【社】
 ◇食文化【文】

【食に関する指導の目標】
 (知識及び技能)
 ・心身の成長や健康の保持増進の上で望ましい栄養や食事の摂りかたを理解し、自ら管理していく能力を身につける。【健】【選】
 ・食生活の改善や食生活の改善に資する能力を身につける。【社】【文】
 マナーや食事を通して人間関係形成能力を身につける。【社】【文】
 (思考力、判断力、表現力等)
 ・食事の重要性、食事の喜び、楽しさを理解する。【重】
 ・正しい知識・情報に基づいて、食物の品質及び安全性等について自ら判断できる能力を身につける。【選】
 (学びに向かう力、人間性等)
 ・食物を大事にし、食物の生産等にかかわる人々への感謝する心をはぐくむ。【心】【社】
 ・各地域の産物、食文化や食にかかわる歴史等を理解し、尊重する心をもつ。【文】【心】

幼稚園・保育園
 幼保連携型
 認定こども園
 ↓
 小学校

【各学年の食に関する指導の目標】
 第1学年
 ・日常の食事に興味・関心を持ち、食環境と自分の食生活との関わりを理解できる。
 第2学年
 ・自分の食生活を見つめ直し、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解できる。
 ・食文化や食品の生産・流通について理解を深め、食事を通して豊かな心と望ましい人間関係を構築できる。
 第3学年
 ・食物の働きや栄養について理解し、献立・調理にも関心を持ち、日常生活に生かしていくことができる。
 ・諸外国や日本の風土、食文化を理解し、自分の食生活は他の地域や諸外国とも深く結びついていることが分かる。

江戸川区が目指す食育の3本柱の抜粋
 (平成30年策定)
 ①若い世代から食育を進め、健康寿命の延伸につなげる
 ②食の循環や環境を意識した食育の推進

食育推進委員会
 委員長：食育リーダー
 委員：校長、副校長、養護教諭、家庭科教諭、栄養士

食に関する指導
 【教科等における食に関する指導】：関連する教科等において食に関する指導の視点を位置付けて指導
 【給食の時間における食に関する指導】：
 ・食に関する指導・・・献立を通して学習、教科等で学習したことを確認
 ・給食指導・・・準備から片付けまでの一連の指導の中で習得
 【個別的な相談指導】：肥満・やせ傾向、食物アレルギー、偏食

地場産物の活用：
 地場産物等を使用した献立の実施

家庭・地域との連携：給食だより月1回発行、行事食・郷土料理・食文化について給食メモやタブレットにて配布、給食試食会、学校保健委員会、学校給食運営委員会、ホームページ

食育推進の評価
 活動指標：食に関する指導、学校給食の管理、連携・調整
 成果指標：生徒の実態、保護者・地域の実態